

手話言語条例 懇談会

(仮称) 町田市手話言語条例検討部会
町田市地域福祉部障がい福祉課

懇談テーマ①

手話言語条例学習会を振り返って

懇談テーマ①

手話言語条例学習会を振り返って

越智部会長の講演内容に対して、参加者の皆さんからご意見やご感想をお聞きします。

挙手制（1人1回）でご意見・感想をお聞きします。

手を挙げて、指名されたら前に出て発言をお願いします。

懇談テーマ②

耳が聞こえないことで困っていること

懇談テーマ②

耳が聞こえないことで困っていること

【テーマ設定の意図】

手話言語条例の条文検討にあたって、聴覚障がいのある方のコミュニケーション（意思疎通）の課題を、直接手話等でお聞きして把握する。



2月20日まで実施したアンケート調査においても
同様の設問を設定

調査名「聴覚障がいのある方の意思疎通に関するアンケート調査」

懇談テーマ②

耳が聞こえないことで困っていること

問:あなたが特に耳が聞こえないことで困るのは
どのような場所ですか。(上位3位)

第1位	病院・薬局	25.6%
第2位	交通機関	17.8%
第3位	商業店舗・飲食店	17.5%

※回答の比率は「その他」の回答を除いた比率(以降同じ)
4位以降を含めた調査結果は、報告書にまとめて公表予定

懇談テーマ②

耳が聞こえないことで困っていること

問: 前の設問で回答した場所において、

どのようなことに困るのか教えてください。(一部要約)

【病院・薬局】

- ・案内で呼ばれていることに気づかない。聴こえない。
- ・スタッフ全員マスク着用しており、口の形が読み取れない。
- ・予約や問い合わせが電話でしかできない病院がある。
- ・医師との会話は専門用語が多く、筆談では情報量が不十分で、手話通訳が必要になる。

懇談テーマ②

耳が聞こえないことで困っていること

問: 前の設問で回答した場所において、

どのようなことに困るのか教えてください。(一部要約)

【交通機関】

- ・ (駅で) 遅延・運転見合わせのアナウンスがわからない。
- ・ 運転見合わせ等が起きて振替輸送を確認する時に、筆談具がないと駅員さんとの会話が成立しない。
- ・ (車内で) 事故やトラブルがあっても車内放送がわからない。
- ・ 運転手さんがマスクをしていて読み取れない。

懇談テーマ②

耳が聞こえないことで困っていること

問: 前の設問で回答した場所において、

どのようなことに困るのか教えてください。(一部要約)

【商業店舗・飲食店】

- ・最近では、アプリやタブレット式の注文方法に変わっている飲食店が増えているが、コンビニや窓口だとマスクをしている人が多く、何を言っているのかわからない。
- ・自分から注文することはできるが、店員さんから確認など口頭だけの説明がわからない。

懇談テーマ②

耳が聞こえないことで困っていること

耳が聞こえないことで困っていることについて、参加者の皆さんからご意見をお聞きします。

聴覚障がいのある参加者全員からご意見をお聞きします。

(1人1回:1分以内が目安)

発言する順番を決めますので、前に出て発言をお願いします。

※聴覚障がいのある方のご家族で参加されている方は、ご家族の立場で困っていることを教えてください。

懇談テーマ③

耳が聞こえない方に対する情報保障
(手話・文字情報等) への期待

懇談テーマ③

耳が聞こえない方に対する情報保障 （手話・文字情報等）への期待

【テーマ設定の意図】

手話言語条例の条文検討にあたって、耳が聞こえない方に対する情報保障（手話・文字情報等）への期待について、直接手話等でお聞きして把握する。



2月20日まで実施したアンケート調査においても
同様の設問を設定

懇談テーマ③

耳が聞こえない方に対する情報保障 （手話・文字情報等）への期待

問: 前の設問で回答した場所において、聴覚障がいのある方に対する情報保障（手話・文字情報など）として、どのような対応を期待しますか。（上位3位）

第1位	聴覚障がいの特徴を理解して親切に対応してほしい	30.1%
第2位	手話または文字で情報が得られるようにしてほしい	22.2%
第3位	電話以外の手段(web・メール・FAX)で問い合わせができるようにしてほしい	20.6%

懇談テーマ③

耳が聞こえない方に対する情報保障 （手話・文字情報等）への期待

耳が聞こえない方に対する情報保障（手話・文字情報等）について、どのような対応を期待するか、参加者の皆さんからご意見やご感想をお聞きします。

挙手制（1人1回）でご意見・感想をお聞きします。

手を挙げて、指名されたら前に出て発言をお願いします。

懇談テーマ④

手話言語条例の制定を通じて、
どのような地域社会になることを
期待するか

懇談テーマ④

手話言語条例の制定を通じて、どのような地域社会になることを期待するか

【テーマ設定の意図】

手話言語条例の条文検討にあたって、どのような地域社会になることを期待するか、直接手話等でお聞きして把握する。



2月20日まで実施したアンケート調査においても同様の設問を設定

懇談テーマ④

手話言語条例の制定を通じて、どのような地域社会になることを期待するか

問:あなたは町田市が制定する手話言語条例の制定を通じて、どのような地域社会になることを期待しますか。

第1位	聴覚障がいがあっても暮らしやすい地域社会になってほしい	31.5%
第2位	聴覚障がいについて理解のある地域社会になってほしい	26.7%
第3位	手話が言語であることが理解される地域社会になってほしい	13.9%
第4位	手話で会話しやすい地域社会になってほしい	12.6%
第5位	手話を学びやすい地域社会になってほしい	12.4%


懇談テーマ④

手話言語条例の制定を通じて、どのような地域社会になることを期待するか

町田市が制定する手話言語条例の制定を通じて、どのような地域社会になることを期待するか、参加者の皆さんからご意見やご感想をお聞きします。

挙手制（1人1回）でご意見・感想をお聞きします。

手を挙げて、指名されたら前に出て発言をお願いします。



懇談会は以上になります。
長時間の参加ありがとうございました。